

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			規定の水準はクリアしています。少し手狭感があります。公園等室外遊びを取り入れています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			子ども:職員10:5で配置しています。状況に応じて職員を増やし安全に療育を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	今後、検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングで話し合いをしています。また、月1回の会議には全職員が参加しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度、保護者に向けアンケートのご協力をお願いしています。頂いたご意見を集約し、事業所の改善点等の話し合いを行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPやお便りにて発信しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			法人内で相互監査を行い、業務改善に努めています。外部評価は今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			県の研修や法人内の研修に数多く参加し、職員のスキルアップに努めています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ケース会議で職員全員で子どもと保護者のニーズや課題を話し合い、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化したのツールを活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月1回の職員会議や毎日のミーティング時に全職員で活動プログラムと行動計画を立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			天候や利用する子どもの状況を踏まえて、活動プログラムを工夫しています。その季節にしか体験できない活動も取り入れています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は、主に室内で出来る活動を行い、休日や長期休暇は、野外や社会体験できる施設等での活動を設定し、支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全職員で話し合い、子どもの出席状況や子どもの個性に合わせ、計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、支援開始前に1時間のミーティングを行い、その日の支援内容や役割分担の確認、振り返りを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		なるべくその日のうちに共有を行っています。就業時間の関係でどうしてもできない時は、必ず翌日に共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日支援記録を作成しています。ケース会議等での支援の検証・改善に活用しています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年2回、モニタリングを行い、計画の見直しが必要かを判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		子どもが好む遊びの提供とともにリラックスできる空間の提供に努めています。また、自立に向けた活動だけでなく、創作活動や他との交流を心がけています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議が開催される場合には、児童発達管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		日々学校との情報共有、連絡調整を行っています。学校説明会にも参加し対応しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療ケアが必要なお子さんはいません。通院しているお子さんは多いので保護者と連携し必要な状況の時は主治医にすぐに連絡できるようにしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	今後は連携を強め情報共有と相互理解に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	必要時は情報提供していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	今後は研修等連携を図っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		児童館での交流の他、法人内の放課後児童クラブの児童とも交流を図っていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	機会があれば積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳の活用や送迎時の伝え合いを最も大事にし、共通理解を図っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		研修等で支援の向上を図っていきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始時や面談で丁寧な説明を心掛け保護者から支援方法等の承諾を頂けるようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時に保護者と接する時間を大事にしています。常に保護者の話に耳を傾け、一緒に悩み、支援しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		現在は年1回、保護者会を開き保護者同士の情報交換の場になっています。保護者も参加してもらいイベントも計画中です。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応マニュアルに沿って迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月15日に「ふわふわ通信」を発行しています。日々の子どもたちの様子の写真を多数載せ保護者に発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			法人の個人情報保護規定を遵守し対応しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			マカトンサインや写真や文字、絵、現物等を使い子どもの状況に合わせて工夫をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	ここ数年、事業所の行事に地域の方を招待できていません。今後また招待できるようにしていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	すべてのマニュアルは策定し、職員で共有しています。保護者に対しても周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回避難訓練を実施し、消防署のご協力も頂いていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修を内外で受け付けています。研修を受けた職員が全職員に報告し共有しています。またチェックリスト等を活用し、適切な対応ができるよう努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			必要時には身体拘束同意書に添って実施していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在アレルギー対応が必要なお子さんは居ない状態ですが、アレルギー対応児には医師の指示書に基づき対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを日々の業務の中で各職員が記録しています。いつでも職員が見返せるようにし、共有しています。